

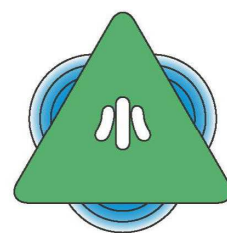
鳥海の子

～明るく・かしこく・たくましく～

令和5年度 学校報 No.16 文責 校長

コミュニティ・スクールだより

由利本荘市立鳥海小学校 令和5年 8月24日



菜園では、ヘチマの黄色い花が満開、30cmほどに育っている実もあるほどです。校門前のキバナコスモスもあちらこちらで花が咲き、風が吹くと揺れています。愛の花プロジェクトのひまわりは8月に入ってやっとつぼみが膨らみ夏休み後半に花を咲かせてくれました。夏を満喫しつつ実りの秋の気配も感じられます。

今年は夏休みに入るのに併せたかのように、全国各地で猛暑日が続きました。秋田県内でも気温が35度を超える危険な暑さのために熱中症アラートが続いています。子どもたちには、夏休みは自分、一人一人のパワーアップの時として「自分からあいさつ」「よりよい自分へのチャレンジ」をがんばってほしいこととお話ししましたが、どのように過ごしていただいでしょうか。大きな事故もなく、それぞれが様々な体験をして、たくましく成長した子どもたちの様子にうれしくなりました。



の行事予定

- 24日(木) 夏休み明け集会
- 25日(金) 地域子ども会
モアレ検査(5年生)
そば観察学習(3・4年生)
- 28日(月) 手洗い教室(4年生)
メディアコントロールチャレンジⅡ
※9月1日まで
夏休み作品展～9月1日まで
- 29日(火) 伏見地層見学学習(6年生)
こころの健康づくり教室(5・6年生)
- 30日(水) キピー
第3回PTA総務部会
- 31日(木) ふみの日
民俗芸能学習(5・6年生)

冬休みまでの主な行事

- 10月4日(水) 前期終業式
- 5日(木) 振替休業日(飛鳥祭)
- 6日(金) 秋季休業日
- 19日(木) 修学旅行～20日(6年生)
- 24日(火) みんなの登校日
校内マラソン大会
なべっこ活動
- 11月3日(金) 創立10周年記念式典
- 6日(月) 振替休業日
- 15日(水) 南ブロック授業実践研究会
- 12月12日(火) PTA学校参観日



の行事予定

- 1日(金) 飛鳥祭小中合同集会
学ぶんチャレンジプログラム(3年生)
- 4日(月) 委員会活動
- 5日(火) 自然教室～6日(5年生)
- 6日(水) キピー
- 7日(木) 読み聞かせ
芸術鑑賞教室(1・2・3年生)
- 8日(金) 身体測定
- 11日(月) クラブ
- 12日(火) 居住地校交流(6年生)
- 13日(水) キピー
- 14日(木) 読み聞かせ
所長訪問
民俗芸能学習(5・6年生)
- 15日(金) 視力検査
壮行会
- 17日(日) 全国小学生陸上競技交流大会
佐藤晴音さん 出場
- 18日(月) 敬老の日
- 20日(水) 委員会活動
- 21日(木) 読み聞かせ
芸術鑑賞教室(4・5年生)
3Dプリンタ創作教室(6年生)
- 23日(土) 秋分の日
- 25日(火) 職員会議
- 27日(水) 民俗芸能学習発表リハーサル
キピー
- 28日(木) ふみの日
- 30日(土) 第10回飛鳥祭
(小中合同学習発表会)
※振替休業日は10月5日(木)

今年度の水泳学習について

夏休みのプール開放は8月10日まででしたが、連日たくさんのお子どもたちが利用しました。プール開きの時に「泳ぐのは苦手なだけけれど、プールで遊ぶのは大好き」と話してくれた子どもがいました。異学年のお子どもたちが混じり合っていて楽しく過ごしている様子はほほえましく感じます。

実は、大変残念なのですが、プールの塩素調整の機械に不具合があったため、夏休み以降のプール使用について見合わせることになりました。今年度の水遊び・水泳学習は7月の学習で目処を付けています。夏休みにレベルアップした技を披露することができなくなってしまいました。ご了承くださいませよう願います。

鳥海の子の輝き

夏休みのがんばりをご覧ください
 ～～夏休み作品展～
 8月28日(月)～9月1日(金)
 8:30～17:30 生活科室にて

□令和5年8月7日～9日

令和5年度第23回全国少年少女空手道選手権大会 (東京武道館にて・県選手団として)
 3年 佐藤 **

□令和5年7月22日(土)開催

第63回本荘由利小学校卓球大会 女子2部 優勝 鳥海Bチーム

5年 村上** 5年 小松** 4年 豊島**

女子2部 第3位 鳥海Aチーム

6年 本多** 5年 小野** 5年 三浦**

5年女子 第2位 小野**

5年女子 第3位 三浦**



「相手の考える力を引き出す会話」の特徴は？

株式会社ラーニングリーダーズ代表の島田光浩さんが講師をしてくださった研修会で紹介された二つの会話の例です。どちらも「柿の話」をしているのですが、そのやりとりだけで相手は無意識に自分で考えていくそうです。普段のお子さんとの会話で、じっくり考えさせたい場面にはいかがでしょう。

1 ありがちな親子の会話

(子供) 「柿見つけたんだ」
 (親) 「本当だね」
 (子供) 「うん」
 (親) 「じゃあ、取ってあげるよ」
 (子供) 「イヤだ、僕取りたい！」
 (親) 「じゃあ、こうすれば取れる(柿を取ってあげる)」

「相手の考える力を引き出す」会話は、肯定的に受け止めながら、質問が繰り返されています。そのため、時間がかかりますが、話が広がります。子供は新しい気付きをしています。「ありがちな会話」はテンポよく結論が出ているのですが、話が広がらず相手は忖度して答えていくようです。

無意識にしている会話ですが、私は見つめ直す機会になりました。

2 相手の考える力を引き出す会話

(子供) 「柿見つけたんだ」
 (親) 「本当だね。柿だね。(承認) どうしたいの？」
 (子供) 「取りたい」
 (親) 「なんで取りたい？」
 (子供) 「食べたい」
 (親) 「そう、食べたいんだ。他には？」
 (子供) 「触ってみたい」
 (親) 「本当はどうしたいの？」
 (子供) 「触ってみたい。取って！」
 (親) 「うん、どうやって取る？」
 (子供) 「ハシゴ使おうかな」
 (親) 「いいね、ハシゴ、他には？」
 (子供) 「木に登る」
 (親) 「木に登る。他には？」
 (子供) 「そうだなあ・・・」
 (親) 「じゃあ、どうやって取る？」
 (子供) 「じゃ、ハシゴ使う」
 (親) 「じゃ、やってみな！」

